

# 民間支援調整のための情報システムと

## ガバナンスのジレンマ

宮川祥子

慶應義塾大学看護医療学部, 京都大学防災研究所,  
情報支援レスキュー隊(IT DART)  
miyagawa@sfc.keio.ac.jp

佐藤大 (東北医科薬科大学 / 情報支援レスキュー隊(IT DART)) ,

畑山満則 (京都大学 / 情報支援レスキュー隊(IT DART))

災害時の被災者支援の一翼を担う組織として、民間支援団体はその存在感を増してきている。多様な民間支援団体が広域被災地で適時適切な支援を行うためには、活動のコーディネートが必要となる。中間支援団体と呼ばれる、支援団体の活動調整や後方支援を受け持つ団体では、支援調整に情報システムを活用することへの期待が高まっているが、複雑な支援調整業務を情報システムに実装することは容易ではない。本発表では、中間支援団体向けの支援調整システム「災凶」の開発プロセスから抽出された支援調整業務の実態と課題、そしてネットワーク型組織のガバナンスのジレンマについて述べる。

キーワード：民間支援団体, 情報システム, 業務分析